

へいわ

糸満市立潮平小学校六年 玉利 日菜乃

へいわはいいね

友達と仲良くあそべて

かぞくは元気

犬は走りまわり

ネコはねてる

海はかがやき

山はせいじゃくに包まれる

みんなわらってる

みんなたのしんでる

みんな生きてる

生きてるんだ

ああ、

へいわっていいね

当たり前に感じてるこの1秒1秒が

しあわせなのかもしれないね

ある日とつぜん

この1秒1秒がひげきにかわったら

どうしよう？

友達はどうして死に

家ぞくはみんな連れていかれた

あんなに青くて美しかった空は

止むことのないばくだんの雷雨をふらせ

あんなにかがやいていた海は

死体の血で赤くそまった

人々のにぎやかな声は

悲鳴や断末魔へと変わり

あの時のなにげない時間が

しあわせだった

しあわせだったんだ

ああ

波をおどらせてかがやく海よ

お前も見たんだろう？

赤一色にそまりはてたあのさんげきを

ああ

青くにじんでの空よ

お前も聞いたんだろう？

にげゆく人々のあの悲鳴を

ああ

「しあわせ」というものは

「生きてる」ということ

「いのち」ということ

みんな生きてる

「生きてる」んだ

「いのち」なんだ

この島に

にどとあのような悲げきは

おこしてはならないんだ

「命どう宝」

このメッセージを

このしまに

この国に

このせかいに

何故なら

みんなが

「生きてる」から

「いのち」だから